



「外来語」言い換え提案

常任理事・情報広報部長 中川俊男

近年、講演を聴いたり、メディアでの討論番組を見ていても、カタカナ語が頻繁に使われるため、意味が十分に理解できないという話をよく耳にします。今回は『「外来語」言い換え提案』を紹介します。

国語に関する総合的研究機関として、昭和23年に誕生し平成13年に独立行政法人となった国立国語研究所には、公共性の高い場で使われる分かりにくい「外来語」について、言葉遣いを工夫し提案することを目的に「外来語委員会」(<http://www.kokken.go.jp/public/gairaigo/>)が設置されています。この委員会から昨年の10月までに3回の「外来語」言い換え提案が発表されています。

【提案された語の例 (抜粋)】

(第1回)

| 外来語 | 言い換え語 |
|---------------|------------|
| アセスメント | 影響評価 |
| アメニティー | 快適環境 |
| インフォームド・コンセント | 納得診療、説明と同意 |
| コンセンサス | 合意 |
| コンテンツ | 情報内容 |
| サーベイランス | 調査監視 |
| スキーム | 計画 |
| スクリーニング | ふるい分け |
| セカンドオピニオン | 第二診断 |
| タイムラグ | 時間差 |
| リーフレット | ちらし |
| フォローアップ | 追跡調査 |
| モチベーション | 動機付け |
| アクセス | 接続 |
| ガイドライン | 指針 |
| セキュリティー | 安全 |
| ライフライン | 生活線 |
| リニューアル | 刷新 |
| バリアフリー | 障壁なし |
| インパクト | 衝撃 |
| ケア | 手当て、介護 |

(第2回)

| 外来語 | 言い換え語 |
|-----------|----------|
| アイデンティティー | 独自性、自己認識 |
| インセンティブ | 意欲刺激 |
| インフラ | 社会基盤 |
| グランドデザイン | 全体構想 |
| サマリー | 要約 |
| モラルハザード | 倫理崩壊 |
| グローバル | 地球規模 |
| コンセプト | 基本概念 |
| シミュレーション | 模擬実験 |
| ビジョン | 展望 |
| マルチメディア | 複合媒体 |
| リアルタイム | 即時 |

(第3回)

| 外来語 | 言い換え語 |
|------------|-------------|
| アカウントビリティー | 説明責任 |
| ドクトリン | 原則 |
| パブリックコメント | 意見公募 |
| マンパワー | 人的資源 |
| リテラシー | 読み書き能力、活用能力 |
| イニシアティブ | 主導、発議 |
| ツール | 道具 |
| フロンティア | 新分野 |

【言い換えを断念した語】

オンライン データベース フォーラム
メセナ

【継続審議する語】

ユビキタス

患者さん、ご家族をはじめ一般の方々に病状の説明、講演など話す機会の多いわれわれ医師は、極力カタカナ語を使わないで平易な日本語を使うことが求められています。この際、日常的にげなく使っているカタカナ語を自分なりに整理してみると、誤った使い方に気づいたり、新たな発見があるかもしれません。